

## フォーミュラリー運用規定（緩下剤）

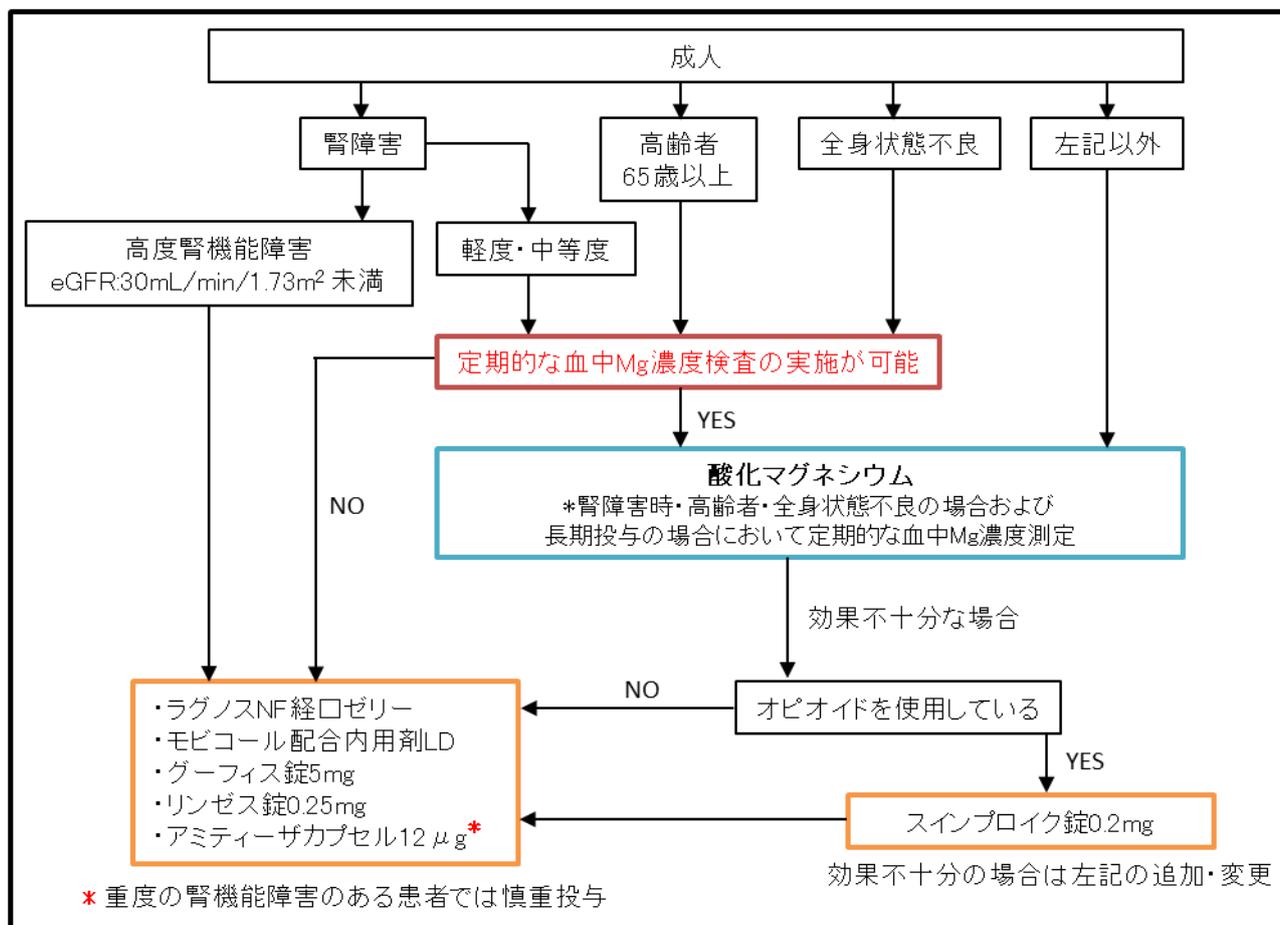
本院における定期使用する緩下剤の処方においては、原則として以下の基準に従って薬剤を選択する。

病院推奨薬	他の選択薬
<ul style="list-style-type: none"> <li>・酸化マグネシウム錠 330mg</li> <li>  ・同 500mg<sup>*※</sup></li> <li>・酸化マグネシウム（散剤）<sup>*※</sup></li> </ul> <p>※高度腎機能障害（eGFR：30mL/min/1.73m<sup>2</sup>未満）の場合には他の緩下剤を使用する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラグノス NF 経口ゼリー</li> <li>・モビコール配合内用剤 LD</li> <li>・グーフイス錠 5mg</li> <li>・リンゼス錠 0.25mg</li> <li>・アミティーザカプセル 12μg<sup>★</sup></li> <li>  ★重度の腎機能障害のある患者では慎重投与</li> <li>[オピオイドを使用している場合]</li> <li>・スインプロイク錠 0.2mg</li> </ul>

- ・以下の薬剤については定期使用による耐性の懸念があるため、頓服による使用を推奨する。  
センノシド錠 12mg<sup>\*</sup>、アローゼン顆粒、ラキソベロン内用液 0.75%、テレミンソフト坐薬 2mg・同 10mg

\*成分名で記載されている薬剤は後発品

## 慢性便秘症における緩下剤選択フローチャート



### 頓用(耐性の懸念があるため、定期使用は推奨しない)

センノシド錠12mg、アローゼン顆粒、ラキソベロン内用液0.75%、テレミンソフト坐薬2mg・同10mg

(参考)

- ・ 便通異常症診療ガイドライン 2023-慢性便秘症
- ・ 症状と患者背景にあわせた頻用薬の使い分け第3版
- ・ 高齢者の安全な薬物療法ガイドライン 2015
- ・ がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン (2020年版)

## ★各製剤の分類

### ・ 定期使用する緩下剤

薬品名	薬効分類	適応名
酸化マグネシウム錠 330mg 酸化マグネシウム錠 500mg 酸化マグネシウム（散剤）	塩類下剤	下記疾患における制酸作用と症状の改善（胃・十二指腸潰瘍、胃炎、上部消化管機能異常）、 <u>便秘症</u> 、尿路尿酸カルシウム結石の発生予防
ラグノス NF 経口ゼリー分包 12g	糖類下剤	<u>慢性便秘症</u> （器質的疾患による便秘を除く）、高アンモニア血症に伴う下記症候の改善（精神神経障害、手指振戦、脳波異常精神神経障害、手指振戦）、脳波異常の改善、産婦人科術後の排ガス・排便の促進
モビコール配合内用剤 LD	高分子化合物	<u>慢性便秘症</u> （器質的疾患による便秘を除く）
ゲーフィス錠 5mg	胆汁酸トランスポーター阻害剤	<u>慢性便秘症</u> （器質的疾患による便秘を除く）
リンゼス錠 0.25mg	粘膜上皮機能変容薬	便秘型過敏性腸症候群、 <u>慢性便秘症</u> （器質的疾患による便秘を除く）
アミティーザカプセル 12μg	粘膜上皮機能変容薬	<u>慢性便秘症</u> （器質的疾患による便秘を除く）
スインプロイク錠 0.2mg	末梢性 $\mu$ オピオイド受容体拮抗薬	<u>オピオイド誘発性便秘症</u>

### ・ 頓服使用する緩下剤

薬品名	薬効分類	適応名
センノシド錠 12mg	刺激性下剤	<u>便秘症</u>
アローゼン顆粒	刺激性下剤	<u>便秘</u> （痙攣性便秘は除く）、駆虫剤投与後の下剤
ラキソベロン内用液 0.75%	刺激性下剤	各種便秘症、術後排便補助、造影剤（硫酸バリウム）投与後の排便促進、手術前における腸管内容物の排除、大腸検査（X線・内視鏡）前処置における腸管内容物の排除
テレミンソフト坐薬 2mg テレミンソフト坐薬 10mg	刺激性下剤	<u>便秘症</u> 、消化管検査時又は手術前後における腸管内容物の排除

## ★各製剤の留意事項

### ・ 定期使用する緩下剤

薬品名	留意事項
酸化マグネシウム錠 330mg 酸化マグネシウム錠 500mg 酸化マグネシウム（散剤）	eGFR：60mL/min/1.73m <sup>2</sup> 未満の場合には定期的な血中マグネシウム濃度測定が推奨される。 eGFR：30mL/min/1.73m <sup>2</sup> 未満の場合には他の下剤を使用する。
ラグロス NF 経口ゼリー分包 12g	本剤はガラクトース及び乳糖を含有するため、ガラクトース血症の患者には <b>投与禁忌</b> 。
モビコール配合内用剤 LD	即効性はなく、効果発現まで約2日間は必要。
グーフイス錠 5mg	<b>食前</b> に経口投与。
リンゼス錠 0.25mg	<b>食前</b> に経口投与。
アミティーザカプセル 12μg	妊婦又は妊娠している可能性のある女性には <b>投与禁忌</b> 。 重度の腎機能障害のある患者では慎重投与
スインプロイク錠 0.2mg	<b>オピオイド誘発性の便秘症に使用</b> する。 オピオイドの投与を中止する場合は本剤の投与も中止すること。

### ・ 頓服使用する緩下剤

薬品名	留意事項
センノシド錠 12mg アローゼン顆粒 ラキソベロン内用液 0.75% テレミンソフト坐薬 2mg テレミンソフト坐薬 10mg	水溶性下痢などの電解質異常や腹痛、脱水などを引き起こすことがある。 長期連用は <b>耐性や習慣性</b> が生じる可能性があるため注意が必要。

★各製剤の薬価および院内処方における使用量の比較（2022年4月～2023年3月）

\*薬価は2023年10月時点の値を記載

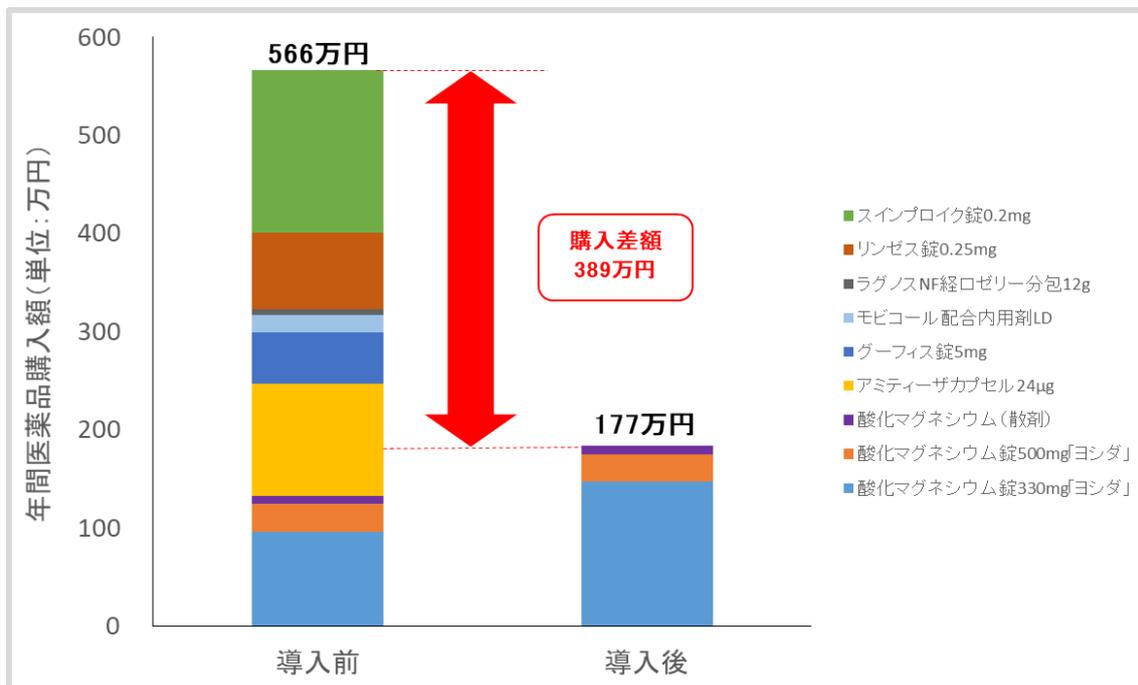
・定期使用する緩下剤

薬品名	先/後	薬価	患者数 (/年)	使用量 (/年)
酸化マグネシウム錠 330mg「ヨシダ」	後発	5.7 円/錠	1,512 人	169,103 錠
酸化マグネシウム錠 500mg「ヨシダ」		5.7 円/錠	388 人	49,071 錠
酸化マグネシウム（散剤）	先発	1.56 円/g	356 人	15,280.4g
ラグノス NF 経口ゼリー分包 12g	後発	42.5 円/包	15 人	1,269 包
モビコール配合内用剤 LD	先発	70.5 円/包	38 人	2,547 包
グーフィス錠 5mg		89.2 円/錠	77 人	5,890 錠
リンゼス錠 0.25mg		73.4 円/錠	143 人	10,688 錠
アミティーザカプセル 24μg		105 円/Cp	144 人	11,417 Cp
スインプロイク錠 0.2mg		277.1 円/錠	167 人	5,958 錠

・頓服使用する緩下剤

薬品名	先/後	薬価	患者数 (/年)	使用量 (/年)
センノシド錠 12mg「NIG」	後発	5.1 円/錠	3,151 人	48,640 錠
アローゼン顆粒	先発	6.5 円/g	23 人	760.5 g
ラキソベロン内用液 0.75%		17.3 円/mL	1,145 人	22,970 mL
テレミンソフト坐薬 2mg		19.7 円/本	7 人	96 本
テレミンソフト坐薬 10mg		20.3 円/本	302 人	2,096 本

★フォーミュラリー導入前と導入後\*の医薬品購入額の比較（2023年12月時点）  
 (\*：該当の処方全てが病院推奨薬(酸化マグネシウム)で処方された場合)



\*上記の購入差額は他の選択薬を全て酸化マグネシウム錠 330mg「ヨシダ」へ変更した場合であり、実際の薬剤選択を考慮した場合の値とは異なります。

《作成・改訂履歴》

- ・2023年12月7日作成
- ・2025年3月6日改訂